

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	教育に関する事務の点検及び評価事業			会計	款	項目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	教育委員会の事務	意図	適正な事務管理の実施
事業内容	教育委員会の事務の管理及び執行について、点検及び評価を行うにあたって、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	点検評価委員2名から意見を求め、評価を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	評価回数	1	1	1	
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,784,930	1,649,300	2,017,800			
事業費(b)(円)		60,000	60,000	60,000			
うち一般財源		60,000	60,000	60,000			
職員給与費(c)(円)		2,724,930	1,589,300	1,957,800			
人役・職員(人)		0.39	0.23	0.26			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	学校運営の効果的推進のために、教育委員会機能の充実を図る。	③取組の課題	評価の方法をできるだけ定量的にするよう努める。
②今年度(H27)に実施した取組	「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、学識経験を有する者の意見を求め、議会への報告及び公表をする。	④今後の改善計画	点検評価委員からの意見を反映していく。